



## 長くつ下のピッピー世界一つよい女の子ー

リンドグレーン 作

桜井誠 絵

大塚勇三 訳

岩波書店 1964年 1700円



9歳のピッピ・ナガツシタは、馬をまるごと持ち上げられるくらい力持ちの、世界一つよい女の子です。2本のおさげはニンジンそっくりの色で、そばかすだらけの顔に、かたっぽは茶色、もうかたっぽは黒の長靴下をはいています。学校にも行かず、1人でサルの子ルソン氏と1頭の馬といっしょにごたごた荘で暮らしています。隣に住むトミーとアンニカというきょうだいとなかよしで、毎日3人で遊びます。ピッピは孤児院に入れようとやってきたおまわりさんと鬼ごっこをしたり、サーカスに飛び入りしたり、次から次へとゆかいな出来事をまきおこします。型破りで陽気なピッピは世界中の子どもたちに愛されています。

シリーズには、行方不明の父親エフライム船長と再会する「ピッピ船にのる」と、トミーとアンニカといっしょに南太平洋の島へ行く「ピッピ南の島へ」があります。